



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,715	74.4	2,409		1,755		1,163	
2020年3月期第1四半期	10,626	23.5	1,554	87.4	1,567	87.7	1,022	100.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,175百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 1,006百万円 (95.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	37.38	
2020年3月期第1四半期	32.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	22,974	18,744	81.6	602.34
2020年3月期	26,814	21,164	78.9	680.11

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,744百万円 2020年3月期 21,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で業績予想の算定が困難であるため、未定といたしております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、適正かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難なことから「未定」といたしております。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった段階で、速やかに開示する予定です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	31,121,520 株	2020年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,939 株	2020年3月期	1,905 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	31,119,607 株	2020年3月期1Q	31,119,657 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、現時点で算定が困難であるため、未定といたしております。詳細は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、インバウンド需要の消失はもとより、本年4月の政府による全都道府県を対象にした「緊急事態宣言」の発令を受け、消費活動は急速に縮小し、かつて経験したことのない深刻な経営環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、前年度終盤より大幅な事業活動の縮小を余儀なくされている状況を鑑み、新型コロナウイルス感染拡大の収束までの期間を「緊急事態フェーズ」と捉え、従業員の雇用維持を第一に、感染予防策の徹底、役員報酬及び賞与の減額などによる人件費の抑制並びにコスト削減、当座貸越枠の増額による資金流動性の確保、在庫の圧縮、収束後を見据えた新ブランド及び新商品開発の推進、通信販売の対策強化などに取り組んでまいりました。

しかしながら、売上面では、通信販売は巣ごもり需要の増加などにより「ルタオ」ブランドを中心に堅調に推移したものの、直営店及び催事などの小売販売や小売店向け卸販売など主要な販売チャネルは、外出自粛による移動の減少及び商業施設の臨時休業などの影響を強く受け、大幅な落ち込みとなりました。また、生産面におきましても、大幅な生産調整を余儀なくされ、売上原価率は悪化いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,715百万円（前年同期比74.4%減）、営業損失は2,409百万円（前年同期は営業利益1,554百万円）、経常損失は1,755百万円（前年同期は経常利益1,567百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,163百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,022百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① シュクレイ

首都圏がメイン商圏のシュクレイは、新型コロナウイルス感染拡大による影響により苦戦を強いられた中、感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、郊外型店舗及びS A市場において自家需要向け商品の強化に注力いたしました。また、キャンペーン展開による販促強化、売場改良などによるブランド訴求力の向上に努めました。商品面では、季節限定商品の投入やGENDYと日本料理「くろぎ」とのコラボ商品「ザ・プレミアムビターキャラメルバー 抹茶 黒木 純監修」をクラウドファンディングMakuake（マクアケ）にて先行販売するなど新たな施策にも取り組みました。出店では、本年6月に羽田空港第1ターミナルに新ブランド「オリエンタルショコラ by コートクール」の新規出店及び「東京ミルクチーズ工場」のリロケーションを行いました。その結果、売上高は674百万円（前年同期比81.4%減）、営業損失は789百万円（前年同期比は営業利益547百万円）となりました。

② ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により苦戦を強いられた中、通信販売において、母の日ギフト対策の強化、期間限定商品の投入及び会員向けカタログの充実を図り、主力商品「ドゥーブルフロマージュ」、アントルメグラッセをベースとしたカップアイス「バルフェ ミニョン」、サンドアイス「サブレグラッセ」などによる夏ギフト対策に注力いたしました。直営店及び催事におきましても、冷凍ケーキなどによる自家需要対策の強化に努めました。また、アントルメグラッセ専門店「グラッセル」表参道店は、収益性の改善を図るため、物販に特化し、本年6月に近隣に移転リニューアルいたしました。その結果、売上高は1,113百万円（前年同期比61.3%減）となり、営業損失は517百万円（前年同期は営業利益250百万円）となりました。

③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により苦戦を強いられた中、感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、ドラッグストア向けなど新たな販路開拓や遊月亭ブランドなどによる通信販売の強化などに注力いたしました。その結果、売上高は579百万円（前年同期比78.4%減）、営業損失は543百万円（前年同期は営業利益347百万円）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により苦戦を強いられた中、感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、売場シェア拡大に向けた提案営業の強化などに注力いたしました。その結果、売上高は208百万円（前年同期比87.0%減）、営業損失は216百万円（前年同期は営業利益162百万円）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により苦戦を強いられた中、感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」において、7周年記念特別メニューの投入、テイクアウト及びデリバリーなどの対策強化を図りました。その結果、売上高は224百万円（前年同期比78.9%減）、営業損失は291百万円（前年同期は営業利益101百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾及び香港）における菓子事業が含まれております。売上高は132百万円（前年同期比48.8%減）となり、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。なお、香港事業は本年2月に事業を閉鎖し、連結子会社Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中であります。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、22,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,839百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（2,961百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1,552百万円）、商品及び製品の減少（521百万円）、流動資産におけるその他の増加（713百万円）、投資その他の資産におけるその他の増加（570百万円）などの要因によるものです。

負債は4,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,419百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少（895百万円）、賞与引当金の減少（410百万円）、支払手形及び買掛金の減少（338百万円）、未払金の減少（333百万円）、流動負債におけるその他の増加（591百万円）などの要因によるものです。

純資産は18,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,420百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる減少（1,244百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少（1,163百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント増加の81.6%となり、1株当たり純資産は602円34銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年3月期の業績予想に関しましては、期初に発令された「緊急事態宣言」は解除になったものの、新型コロナウイルス感染症の収束目途及び消費活動の回復見通しは極めて不透明であり、当社グループに与える影響を見極めることは困難な状況であることから、引き続き「未定」といたしております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,291,162	5,329,672
受取手形及び売掛金	2,761,061	1,208,110
商品及び製品	1,439,981	918,284
仕掛品	40,902	56,619
原材料及び貯蔵品	597,887	615,843
その他	313,941	1,027,006
貸倒引当金	△745	△599
流動資産合計	13,444,189	9,154,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,653,471	4,603,489
機械装置及び運搬具(純額)	2,805,610	2,748,526
工具、器具及び備品(純額)	432,168	414,377
土地	2,887,139	2,887,139
リース資産(純額)	735	294
建設仮勘定	14,899	8,473
有形固定資産合計	10,794,022	10,662,298
無形固定資産	154,243	165,891
投資その他の資産		
その他	2,432,994	3,003,081
貸倒引当金	△11,235	△11,235
投資その他の資産合計	2,421,759	2,991,846
固定資産合計	13,370,024	13,820,035
資産合計	26,814,213	22,974,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,316	296,681
1年内返済予定の長期借入金	180,017	119,918
未払金	866,114	532,604
未払法人税等	900,009	4,452
賞与引当金	606,358	196,122
ポイント引当金	8,052	11,730
その他	650,382	1,242,117
流動負債合計	3,846,248	2,403,624
固定負債		
退職給付に係る負債	1,616,529	1,637,012
その他	186,635	189,734
固定負債合計	1,803,164	1,826,746
負債合計	5,649,412	4,230,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	18,655,835	16,247,733
自己株式	△2,376	△2,544
株主資本合計	21,194,420	18,786,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,221	△1,212
為替換算調整勘定	△15,157	△30,712
退職給付に係る調整累計額	△11,241	△9,626
その他の包括利益累計額合計	△29,619	△41,550
純資産合計	21,164,801	18,744,600
負債純資産合計	26,814,213	22,974,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,626,625	2,715,673
売上原価	4,307,019	2,104,615
売上総利益	6,319,606	611,058
販売費及び一般管理費	4,764,666	3,020,489
営業利益又は営業損失(△)	1,554,940	△2,409,431
営業外収益		
受取利息	18	25
受取配当金	3,463	2,598
受取地代家賃	5,156	7,392
助成金収入	—	623,840
その他	9,883	22,979
営業外収益合計	18,520	656,834
営業外費用		
支払利息	495	556
その他	5,515	2,217
営業外費用合計	6,010	2,773
経常利益又は経常損失(△)	1,567,450	△1,755,370
特別利益		
固定資産売却益	15	7,277
特別利益合計	15	7,277
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	1,063	1,300
特別損失合計	1,063	1,305
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,566,402	△1,749,398
法人税等	543,772	△586,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,022,630	△1,163,317
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,022,630	△1,163,317

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,022,630	△1,163,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,394	2,009
為替換算調整勘定	△9,246	△15,555
退職給付に係る調整額	1,699	1,615
その他の包括利益合計	△15,941	△11,931
四半期包括利益	1,006,689	△1,175,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,006,689	△1,175,248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

今般発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出自粛に伴う移動の減少や出店施設の臨時休業など国内全域において消費活動が急速に縮小したことに伴い、当社グループの事業活動は、大幅な縮小を余儀なくされ、当第1四半期連結累計期間における業績におきましても甚大な影響を受けました。

このような中、当第1四半期連結累計期間における会計上の見積りに関しましては、当該影響の不確実性は極めて高い事象であるものの、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき、1年程度の期間で緩やかに回復するものと仮定して固定資産の減損会計などの会計上の見積りを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(当座貸越契約)

当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
当座貸越極度額の総額	3,250,000千円	7,800,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	3,250,000千円	7,800,000千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,509,435	2,772,031	1,828,960	1,601,930	656,331	10,368,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,595	105,580	861,152	4,453	403,164	1,489,944
計	3,625,030	2,877,611	2,690,112	1,606,383	1,059,495	11,858,631
セグメント利益(△は損失)	547,166	250,616	347,026	162,516	101,377	1,408,701

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	257,938	10,626,625	—	10,626,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,489,944	△1,489,944	—
計	257,938	12,116,569	△1,489,944	10,626,625
セグメント利益(△は損失)	△29,793	1,378,908	176,032	1,554,940

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾及び香港)における菓子事業が含まれております。

なお、当第1四半期連結累計期間より、前連結会計年度に連結の範囲に含めましたHoney Sucrey Limited(香港)が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額176,032千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額362,643千円、セグメント間取引消去額6,370千円、たな卸資産の調整額4,663千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,644千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	645,831	1,094,216	450,193	206,330	186,983	2,583,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,776	19,505	129,701	1,931	37,097	217,010
計	674,607	1,113,721	579,894	208,261	224,080	2,800,563
セグメント利益(△は損失)	△789,375	△517,294	△543,139	△216,367	△291,169	△2,357,344

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	132,120	2,715,673	—	2,715,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	217,010	△217,010	—
計	132,120	2,932,683	△217,010	2,715,673
セグメント利益(△は損失)	△9,097	△2,366,441	△42,990	△2,409,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾及び香港)における菓子事業が含まれております。

なお、「その他」のセグメントに含まれるHoney Sucrey Limitedは2020年1月開催の当社取締役会において清算計画を決議しており、同社は現在清算手続中であります。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△42,990千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額105,734千円、セグメント間取引消去額1,171千円、たな卸資産の調整額18,905千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,800千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。